がん種　乳がん

レジメン名　Pertuzumab+Trastuzumab+wPTX療法

催吐性リスク分類　軽度

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日						
						1	…	8	…	15	…	21
1	生理食塩液	250mL	点滴静注		ルートキープ用	○		○		○		
2	ペルツズマブ（パージェタ）	初回：840mg 2回目以降：420mg	点滴静注側管	初回60分 忍容性が良好であれば 2回目以降30分		○						
	生理食塩液	250mL										
3	トラスツズマブ（ハーセプチン）	初回：8mg/kg 2回目以降：6mg/kg	点滴静注側管	初回90分 忍容性が良好であれば 2回目以降30分		○						
	生理食塩液	250mL										
4	デキサート注射液1.65mg	6管	側管静注			○		○		○		
	ファモチジン注射用20mg	1管										
	ポララミン注5mg	1管										
	生理食塩液	20mL										
5	生理食塩液	50mL	点滴静注側管	30分		○		○		○		
6	パクリタキセル	80mg/㎡	点滴静注側管	1時間	インラインフィルター使用	○		○		○		
	生理食塩液	250mL										

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　制限なし

休薬規定及び減量規定、中止基準	Grade2以上の有害事象で休薬、減量を考慮
その他	必要時ペルツズマブ投与30分前にポララミン2mg 1錠、カロナール200mg 2錠内服する。 ＜ペルツズマブ+トラスツズマブ＞ ・ペルツズマブは前回投与から6週間未満の時は420mg投与する。 前回投与から6週間以上の時は改めて初回投与量の480mgで投与を行う。 ・トラスツズマブは予定より1週間を超えて遅れた場合は改めて8mg/kgから開始する。 ・定期的な心機能モニタリングを行う。※通常患者で12週ごと、無症候性心機能障害患者で6～8週ごと。 ＜パクリタキセル＞ ・アルコールに過敏な患者は慎重投与 ・併用薬の確認 併用禁忌…ジスルフィラム、シアナミド、プロカルバジン 併用注意…ビタミンA、アゾール系抗真菌薬、マクロライド系抗生物質、ニフェジピン、シクロスポリン、ベラパミル、ミダゾラム